

ネパールにおける栄養及びヨード欠乏に関する指導講習報告

2017.2.28

公社) アジア協会アジア友の会 事務局スタッフ 熱田典子



さくら寮 最後の10名の寮生と共に

実施日：2016年11月16日

場 所：ポカラ カンニャキャンパス内 さくら寮

対 象：カンニャキャンパス学生さくら寮生10名（短大生）

講 師：熱田典子（管理栄養士）

提携： 認定NPO 法人日本ネパール女性教育協会

これまで、カンニャキャンパスを修了し、教師又は教師のボランティアをしている卒業生たちを対象に教育にかかわるものとして、基本的な栄養知識とネパールに多くみられるヨード不足による甲状腺機能低下症にたいする食事からの予防に関する講習を実施していましたが、今年度は初めて現役の学生を対象に実施しました。印象はとても熱心に新しいことを身につけたいという気持ちをもっているように感じました。今回の講習で得たものを少しでもまずは自分自身の食生活の見直し、卒業後は教師として村の生活改善リーダーとして発展されることを望みます。



講習会の様子。

ヨードの役割とその欠乏による状況とその回避に必要な食品についての説明をおこなう。



講習会の様子。

3つの食品群に関して。

3つのグループの食品に含まれる栄養素の役割についての説明。



3つの食品群に関して実際に食品グループ分けを行うための教材。



受講生が教師になるための学びをしている学生であることから、日本の学校の給食を紹介し、教育の中に「食」が含まれている事、生徒たちへの食育方法、給食当番制度に関する説明





食品群分けに関して、実際に受講生自身で食品がどのグループのに該当するか、分けを行う。
全員がチャレンジし、皆で答え合わせを行う。



黄色と赤色のグループ分けで混乱して間違える生徒が多い。

皆で答え合わせをし、間違いを皆で確認しあい、しっかりとグループ分けでき、すべてのグループの食品を取り入れた食事にするのを心掛け出来るようにする。

生徒たちには3つの各グループの食品の役割と食品リストのプリントを配布。

委託元 NPO 法人 ネパールヨードを支える会のコメント

カンニャキャンパス（女子短大）の卒業生及び卒業見込生を対象にヨード欠乏症の知識と食事改善によるヨード不足の予防を期待して教育機会を 4 回継続してきた。帰省先の村で教師をしているので、生活改善の実践者として旗手としてもリーダーシップを発揮されることを祈るばかりである。IT 情報も発展してきたので、学校以外の知識の伝播も期待したいところである。もし、一つの情報チャンネルとしてネットワークができるなら、ビジネスも乗せることが可能かもしれない。

お疲れさまでした。

以上